

外国語科（英語）学習指導案

学校名 海田町立海田西中学校
授業者 山本 竜也（ベーシック）
中川 由佳（アドバンスト）

- 1 日 時 平成 28 年 11 月 25 日(金) 第 5 校時
- 2 学 年 第 1 学年 1 組 ベーシックコース 男子 5 名 女子 4 名 計 9 名
アドバンストコース 男子 9 名 女子 14 名 計 23 名
- 3 単元名 Program 8 Origami (Sunshine English Course 1 開隆堂)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領外国語科（以下、学習指導要領）、「話すこと」の指導事項「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」から設定したものである。学習指導要領の「言語活動の取り扱い」の「言語の働き」のうち、「c 情報を伝える」に焦点を当て、外国人に、日本の文化や、身近な観光名所を紹介する活動を通して、自分の考えや意見を伝えるだけでなく、内容につながりをもたせながら、コミュニケーションの力を身に付けることを目指している。

言語材料として能力を表す助動詞 *can* が導入される。初めて扱われる助動詞であるが、小学校外国語活動で体験的に音声を中心に学んでおり、最初の単元 *Let's Start* でも取り上げられているため、生徒にとってはなじみのある表現である。2年生の学習内容である *will* や *must* などの他の助動詞の基礎となる内容で、今後の自己紹介や質問でも活用していくものである。

単元の題材は、折り紙に関する話題である。大介が英語の時間に、折り紙で作った人形や動物をクラスメートに見せながら、日本折り紙協会での活動を紹介するスピーチを行っている。折り紙が、日本だけでなく世界でも人気があることや、ウッド先生が以前働いていたレストランで折り紙に興味を持つようになった場面から、日本の文化の良さが外国の人々に伝わる様子も見られ、英語を用いて日本文化を発信する主体的な活動につなげることのできる単元である。

(2) 生徒観

4月より、習熟度別編成で学習を行っている。小学校外国語活動での学習の積み重ねの結果、英語を話すこと、聞くことに関しては意欲的に取り組み、発表することができる。入学した当初から、日付、曜日、天気その他、簡単な自己紹介も英語で行うことができている。しかし、「書くこと」を含めた表現を行うことには苦手意識を持っている。

9月に行った英語の学習に関するアンケートによると、「英語を分かりたい」という肯定的な回答は 93.8%、「英語の授業はよく分かります」という肯定的な回答は 84.4%となっており、意欲的に授業に取り組んでいる生徒は多い。一方で「英語の授業は好きです」という肯定的な回答は 67.2%、「英語を使って、外国の人と交流してみたいと思う」と肯定的な回答は 67.2%となっており、英語を学ぶ必要性は感じているものの、英語を使って発信することに意義を見つけれられていない生徒が多くいるのも現状である。また、「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています」と答えた生徒は 60.9%にとどまり、聞き手として必要な情報をつかみ、相手の意向を理解する力が課題と考えられる。

(3) 指導観

本単元で学習する **can** は、小学校の外国語活動の時間に慣れ親しんだ表現であるため、小学校で行ったチャンツを取り入れ、身近な場所や人物のできることを、できないことを確認し、復習しながら定着を図る。また、根拠を明確にしながら意見を言う力をつけるために、本文の内容理解では、リスニングポイントを与え、メモを取りながら概要を聞き取らせ、理由をつけて応答する活動を継続して行わせる。そして、単元のゴールとして「海田町PRビデオ」の作成を設定し、状況や目的、相手を意識して主体的に英語で発信する活動を行う。生徒には、単元の始めに、2年生が修学旅行で海田町PRビデオを使用しながら留学生と英語で交流する計画であることを説明し、間接的ではあるが、英語を使って交流する意義を見いださせる。相手の意向を聞き取り、それを満たすおすすめの場所を紹介するために、**can** を用いた表現を活用して分かりやすく相手に自分の考えを伝えさせる。

ベーシックコースでは、まず教師が異なった2つのモデルを示し、生徒にどちらが分かりやすいかに気付かせる。使える表現を提示し、グループで協働して取り組ませる。アドバンストコースでは、教師が **can** を用いていないモデルを提示し、気づきを全体で共有させる。それを基に、ペアで和英辞典を活用して協働して取り組ませ、相互に評価を行わせる。

5 単元の目標

- ① 助動詞の用法について正しく理解し、運用する。
- ② 海田PRビデオを作成し、既習事項を活用して分かりやすく相手に自分の考えを伝える。
- ③ 折り紙の文章について読み、概要や要点を理解することができる。

6 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
既習事項を用いて、できること、できないことを積極的に表現している。	伝えたい内容が正しく伝わるよう、適切な表現を用いて書いたり話したりすることができる。	大切な情報を正確に読み取り、概要を理解することができる。	助動詞 can 、疑問詞 how の用法を正しく理解し、知識を身に付けている。

7 本単元において育成しようとする資質・能力

- 【知識】 助動詞 **can** (肯定・疑問・否定)、**how** の疑問文の知識
- 【スキル】 伝える相手を意識し、よりわかりやすく伝える方法を考える解決力
- 【意欲・態度】 既習事項を活用し、自分の考えや思いを積極的に伝え、表現するチャレンジ精神
- 【価値観・倫理観】 伝える相手を意識した表現方法で、相手に伝わることにより、自らへの自信を持つ
他の意見を聴き、受け入れる共感力

8 指導と評価の計画（全9時間）

次	時	学習内容	評価					
			関心	表現	理解	知識	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	課題の設定 情報の収集 ○海田町のPR文を書く。 ・文法、語彙等の表現方法の難しさを知る。	○				海田町についてPR文を書こうとしている。(紹介文)	他の意見を聴き、受け入れる共感力(観察)
	2	○canを用いた文(肯定文・否定文)の構造を理解する。				○ 助動詞 can の用法を正しく理解し、知識を身に付けている。(行動観察・後日テスト)	助動詞 can (肯定・疑問・否定)(ワークシート)	
	3	○疑問詞howの文の構造を理解する。				○ 疑問詞 how の用法を正しく理解し、知識を身に付けている。(行動観察・後日テスト)	how の疑問文(ワークシート)	
二	4	○Program 8-1の内容を理解する。 ・大切な内容を聞き取り、他とのインタラクションを通して概要を理解する。 ・音読練習			○	大切な情報を正確に読み取り、概要を理解することができる。(ワークシート)		
	5	○Program 8-2の内容を理解する。 ・大切な内容を聞き取り、他とのインタラクションを通して概要を理解する。 ・音読練習			○	大切な情報を正確に読み取り、概要を理解することができる。(ワークシート)		
	6	○Program 8-3の内容を理解する。 ・大切な内容を聞き取り、他とのインタラクションを通して概要を理解する。 ・音読練習			○	大切な情報を正確に読み取り、概要を理解することができる。(ワークシート)		
三	7 【本時】	整理・分析 ○相手におすすめスポットを、canを用いた文章を活用して提案する。		○		canを用いた文章を活用して、できることを積極的に表現している。(観察・ワークシート)	伝える相手を意識し、よりわかりやすく伝える方法を考える解決力(観察・ワークシート)	

8	<u>まとめ・創造・表現</u> ○海田PRビデオを作成する。		○		伝えたい内容が正しく伝わるよう、適切な表現を用いて書いたり話したりすることができる。(ワークシート)	既習事項を活用し、自分の考えや思いを積極的に伝え、表現するチャレンジ精神(観察・ワークシート)
9	<u>振り返り</u> ○海田PRビデオの作成とふりかえりを行う。 ○学習活動の自己評価を行う。		○		既習事項を用いて、できること、できないことを積極的に表現している。(観察・ビデオ)	伝える相手を意識した表現方法で、相手に伝わることにより、自らへの自信を持つ(観察・ビデオ)

9 本時の学習

(1) 本時の目標

相手の意向を理解して、canを用いた文章を活用して表現することができる。

(2) 観点別評価規準

伝えたい内容が正しく伝わるよう、適切な表現を用いて書いたり話したりすることができる。

(3) 準備物

タブレット、CDデッキ、ワークシート、和英辞典、教材提示装置

(4) 学習の展開（ベーシックコース）

	学習活動	指導上の留意事項 ★支援を要する生徒への手立て	評価規準 資質・能力(★) (評価方法)
導入	1 あいさつ ・ Routine Questions 2 既習事項の復習 ・ チャンツで復習を行う。 ・ can を用いて対話練習を行う。 3 本時の目標を立てる。	・ 短時間でテンポ良く行う。 ・ day, date, weather を強調しながら確認する。 ・ ICT 教材を使いテンポ良く行う。 ・ can の用法を確認する。	can を用いた文章を活用して、できることを積極的に表現している。(観察)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">相手の意向を理解し、can を正しく使うことができる。</div>		
展開	4 リスニングをする。 ・ 相手が何をしたいかなどの意向を聞き取る。 ・ 聞き取った内容を全体で共有する。 5 先生の提案を聞く。	・ ポイントを明示したワークシートにメモをとらせる。 ・ キーワードを英語で示す。 2つのモデル（場所だけを提案したものと、その場所で何ができるかを紹介したもの）を示し、比較してどちらの表現の方がより良いかを考えさせ、何をポイントに書くのかを確認する。	伝える相手を意識し、よりわかりやすく伝える方法を考える解決力（観察・ワークシート）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> チェックポイント ①相手の意向を理解し、適切に応じているか。 ②何ができるかがわかるか。(can が適切に用いられているか。) </div>		
	6 おすすめスポットと、その紹介文を考え、練習を行う。 ・ 3人×3のグループで役割分担をして考える。 7 おすすめスポットとその理由の発表を行う。 ・ 発表は1グループ30秒で行う。 ・ 聞き手はワークシートにメモを取り、気づきを書く。	・ 和英辞典を用いて書かせる。 ★WORD BOX を手がかりに表現させ、語順などの分からない部分を支援する。 ・ 原稿を教材提示装置でテレビに写す。 ・ 発表後に、チェックポイントを基にフィードバックを行わせる。	

まとめ	8 本時のまとめを確認する。 ・自己評価カードに記入する。	・どのような表現を用いれば、相手に伝わりやすいかをまとめさせる。	
-----	----------------------------------	----------------------------------	--

(5) 板書計画

本時の 目標	Friday, November 25th, sunny
相手の意向を理解し、can を正しく使うことができる。	
リスニングで共有したこと ・ Mary ・ 13 years old ・ parents and a brother ・ first trip to Japan ・ pictures ・ Japanese food ・ Japanese history	★チェックポイント ①相手の意向を理解し、適切に応じているか。 ②何ができるかがわかるか。 (can が適切に用いられているか。)
How about Tokyo Skytree? You can enjoy nice view.	

リスニング英文 (紹介文を書く相手のスピーチ)

Hello, I'm Mary. I'm thirteen years old. I have parents and a brother.
 This is my first trip to Japan.
 I want to take pictures. I want to eat Japanese food.
 I want to know Japanese history (歴史). Thank you.

B 評価の例

How about Miyajima?
 You can go there by ferry.
 You can see the torii.
 You can eat momiji manju.

A 評価の例

How about Miyajima?
 You can go there by ferry and you can see the torii.
 It is beautiful.
 You can eat momiji manju too.
 That is a good present for your family.

class() No.() Name()

1 聞き取った内容をメモしよう。

名前	年齢	家族	日本に来た回数
したいこと			

2 おすすめスポットを紹介する文を書いてみよう

(): How about ()?

(): _____

(): _____

(): _____

(): _____

(): _____

Place 場所

the history of Hiroshima 広島
の歴史
the torii 鳥居 Itsukushima shrine 厳島神社
Bomb Dome 原爆ドーム
Mazda Stadium マツダスタジアム

Action 行動

see 観る eat 食べる
study 勉強する visit 訪れる

Others その他

deer シカ a baseball game 野球の試合

Feeling 気持ち

cute かわいい delicious おいしい
beautiful うつくしい exciting わくわくする

3 他のグループの紹介を聞いてみよう。

group			
メモ			
①			
②			

(4) 学習の展開 (アドバンストコース)

	学習活動	指導上の留意事項 ★支援を要する生徒への手立て	評価規準 資質・能力(★) (評価方法)
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Routine Questions <p>2 既習事項 (can) の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツで復習を行う。 ・ can を用いて対話練習を行う。 <p>3 本時の目標を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でテンポ良く行う。 ・ day, date, weather を強調しながら確認する。 ・ ICT 教材を使いテンポ良く行う。 ・ can の用法を確認する。 	can を用いた文章を活用して、できることを積極的に表現している。(観察)
	相手の意向を理解し、おすすめスポットが紹介できる。		
展開	<p>4 リスニングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が何をしたいかなどの意向を聞き取る。 ・ 聞き取った内容を全体で共有する。 <p>5 先生の提案を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートにメモをとらせる。 ・ キーワードを英語で示す。 ・ 紹介文のモデル (場所だけを提案したもの) を示し、何が良くないかに気付かせ、相手に分かりやすく伝えるにはどうすればよいのかを考えさせ、ポイントを確認する。 	伝える相手を意識し、よりわかりやすく伝える方法を考える解決力 (観察・ワークシート)
	<p>チェックポイント</p> <p>①相手の意向を理解し、適切に応じているか。</p> <p>②何ができかがわかるか。(can が適切に用いられているか。)</p>		
	<p>6 おすすめスポットと、その紹介文を考え、発表の練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで考える。 <p>7 おすすめスポットとその理由の発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 グループに分かれ、1 グループ 30 秒で発表する。 ・ 聞き手はワークシートにメモを取り、気付きを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和英辞典を用いて書かせる。 ★WORD BOX を手がかりに表現させる。 ・ できるだけ同じ場所を選んだペアでグループを作る。 ・ 発表後に生徒同士で簡単なフィードバックを行わせる。 	

展 開	8 気づきを交流する。	・意見を交流させる中で、よい表現や、より良くするためのポイントに気付かせる。	
ま と め	9 本時のまとめを確認する。 ・自己評価カードに記入する。	・どのような表現を用いれば、相手に伝わりやすいかをまとめさせる。	

(5) 板書計画

本時の 目標	Friday, November 25th, sunny
相手の意向を理解し、おすすめスポットを紹介できる。	
<p>リスニングで共有したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Mary ・ 13 years old ・ parents and a brother ・ first trip to Japan ・ pictures ・ Japanese food ・ Japanese history 	<p>★チェックポイント</p> <p>①相手の意向を理解し、適切に応じているか。</p> <p>②何ができるかがわかるか。 (can が適切に用いられているか。)</p>
<p>How about Tokyo Skytree?</p> <p>You can enjoy nice view.</p>	

リスニング英文（紹介文を書く相手のスピーチ）

Hello, I'm Mary. I'm thirteen years old. I have parents and a brother.
This is my first trip to Japan.
I want to take pictures. I want to eat Japanese food.
I want to know Japanese history (歴史) . Thank you.

B 評価の例

How about Miyajima?
You can go there by ferry.
You can see the torii.
You can eat momiji manju.

A 評価の例

How about Miyajima?
You can go there by ferry and you can see the torii.
It is beautiful.
You can eat momiji manju too.
That is a good present for your family.

class() No.() Name()

1 聞き取った内容をメモしよう。

メモ

2 おすすめスポットを紹介する文を書いてみよう

(): How about ()?

():

():

():

():

():

(Word Box)

Place 場所

the history of Hiroshima 広島
の歴史
the torii 鳥居 Itsukushima Shrine 厳島神社
Bomb Dome 原爆ドーム
Mazda Stadium マツダスタジアム

Action 行動

visit 訪れる
<その他にも活用できる動詞
を探してみよう>

Feeling 気持ち

delicious おいしい
exciting わくわくする
<その他にも活用できる形容詞(様子
を表す言葉)を探してみよう>

3 他のペアの紹介を聞いてみよう。

	memo	①	②
1			
2			
3			
4			
5			